



IWAYADO SENIOR HIGH SCHOOL

ほぼ月刊

岩高新聞

IWAKO NEWS

第3号

令和3年7月2日
岩谷堂高等学校 編集委員会
担当 3年3組
菅野 佐々木

避難訓練

東日本大震災から十年が経過した今、私たちの中での悲惨な出来事に目を向ける機会が少なくなっているのではないのでしょうか。しかし今回の避難訓練を通して、十年前のことを振り返ることができたとお思います。「自分の命は自分で守る」は簡単なことではありません。いつ、自分の身に何が起こっても冷静に対処できるようにこれからの訓練も真剣に取り組んでいきたいです。(菅野)



前期中間考査

今回の前期中間考査は、三年生にとって重要なテストとなりました。一・二年生にとっては新学年に上がって最初のテストになりました。考査の結果や日々の授業態度による成績は、今後の進路選択に大きく関わります。ですので、自分の進路にしっかり目を向け、後悔しないように日々の学習に取り組んでいきましょう。(菅野)

クラスマッチ

六月二十三、二十四日の二日間にわたりクラスマッチが行われました。コロナ禍ですが、去年に引き続きなんとか開催することができました。どの競技でも手を抜くことは一切なく、全員が団結し合い、とても熱い戦いが繰り広げられていました。ドッジボールでは、優勝を目指し、仲間を声を掛け合い、励まし合い、クラスをまたいだ応援

の声をたくさん聞くことができました。1年生は初めてのクラスマッチでしたが、高成績を残すクラスも多く、慣れない中でも、喜びの笑顔や、団結が見られました。2年生はクラス替えがあつてから初めてのイベントでしたが、個人個人の力を落とすことなく、勝利に向けて一生懸命な姿が見られました。3年生は、高校生活最後のクラスマッチで、一人一人が思う強い気持ちがあつたと思います。2年生の仲間たちとまた戦つということなので、3年生らしい強く、熱い試合がたくさん見られました。みんなの本気な戦いと、熱い応援で今年もクラスマッチを大成功で終わらせることができました。(佐々木)



新役員選挙

今年も役員選挙の時期となりました。岩谷堂高校を支える存在の生徒会の方たちの伝統がまた次の世代へバトンタッチされます。様々な行事、普段の学校生活でも大きな役割をこなし、仕事をしている生徒会の方々はなくてはならない存在であり、素晴らしい存在です。そんな岩谷堂高校を全面的に支えるチームが新しいメンバーで構成され、またよりよい高校を目指しは走り続けていく新役員選挙に期待します。(佐々木)

あとがき

六月十八日、本校職員である佐藤将太先生が東京オリンピックの聖火ランナーとして、宮古市を快走し、二年次の生徒が大講義室から声援を送りました。「夢に向かってどんな困難があつても乗り越えて走る姿に感動しました」笑顔で楽しんで走る先生から元気をもらいました「生徒のメッセージには、皆さんの感動が溢れていました。ありがとうございました。将太先生！」(菅野・佐々木)

